

令和元年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 社会・青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	133, 883,446円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的ホール、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	7,965 (209)	15,505 (498)	9,573 (264)	14,836 (474)	10,459 (274)
開所日数(単位:日)	143	158	145	156	144
団体利用可能日数(単位:日) ※1	114	157	145	155	141
団体利用実績日数(単位:日)	95	155	126	151	118
施設稼働状況(単位:%) ※2	83.3	98.7	86.9	97.4	83.7

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、今年度よりSNSを通じた広報・情報発信を行っている。出前講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業 自主事業	○受入事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③市民対象事業 ○下記自主事業を実施 ①「自然体験ミニイベント」 ②「三輪北文化のつどい」への事業協力(地元への事業協力)	○受入事業 ・196団体6,764人を受入れ ○主催事業 ①4事業7回に119家族436人が参加 ②1事業1回に44人が参加 ③1事業1回に71人が参加 ○自主事業 ①1事業2回に631人が参加 ②自然の家コーナーに76人が参加

区分	確認事項	履行状況
指定事業 自主事業	<p>○研修・啓発事業を実施</p> <p>①「自然体験活動実技研修会」</p> <p>②「ボランティアスタッフ研修会」</p> <p>③出前講座の実施</p> <p>④自然情報の発信</p> <p>○研究・開発事業を実施</p>	<p>○研修・啓発事業</p> <p>①1事業2回に19人が参加</p> <p>②(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>③出前講座14回に308人が参加</p> <p>④下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の家だより」の発行 ・SNS (Instagram・Facebook) に投稿 <p>○研究・開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座用の活動メニューの開発 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み
施設管理	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②寝具クリーニング</p> <p>③空気環境測定</p> <p>④水質検査</p>	<p>①【日常】開所日は毎日実施 【定期】10月・12月・3月に実施</p> <p>②2月・3月に実施</p> <p>③11月・1月・3月に実施</p> <p>④2月に実施 ※その他、仕様に基づき適正に実施</p> <p>職員による施設点検(整備)</p> <p>【館内外点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 <p>【キャンプ場】【散策道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の入所前、荒天後 <p>【豚コレラ対策として消石灰の散布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:10月1日～3月31日 頻度:2～3日に1度、雨天後
施設修繕	<p>①迅速な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施</p>	<p>①迅速な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場土壌修繕 ・宿泊棟2F東トイレ排風機取替修繕 ・シャワー系統用減圧弁修繕 ・浄化槽流入ポンプNo.2取替修繕 ・あじさい広場柱修繕 <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策道の整備 ・網戸破れ修繕 ・活動備品の点検、修繕 ・ゴムボート破れ修繕 ・花壇の整備
危機管理・ 法令遵守	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。 <p>②下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切にその運用を行っている。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。 ・消防訓練、防火設備等の管理を継続して適切に行っており、「表示マーク(金)」の交付を受けている。 ・猛暑時に、暑さ指数計やミスト扇風機を活用し、熱中症対策を行っている。 <p>③下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施 質問内容:「利用全般」「職員の対応」など ・「野外学習アンケート」…利用した小学校(抽出)を対象に実施 質問内容:自然の家の3つの願いの達成度 ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施 質問内容:事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 <ul style="list-style-type: none"> ①回収枚数 89枚 ②各項目の満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 「利用全般」 (98.9%):大変満足75.3% 満足23.6% 普通1.1% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (96.6%):大変満足75.0% 満足21.6% 普通3.4% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」 (97.8%):大変満足88.8% 満足 9.0% 普通1.1% 不満0.0% 大変不満1.1% 「食堂の食事」 (92.4%):大変満足59.5% 満足32.9% 普通7.6% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 【初回利用団体】 9枚 <ul style="list-style-type: none"> 「利用全般」 (88.9%):大変満足66.7% 満足22.2% 普通11.1% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (88.9%):大変満足77.8% 満足11.1% 普通11.1% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」 (88.9%):大変満足77.8% 満足11.1% 普通11.1% 不満0.0% 大変不満0.0% 「食堂の食事」 (75.0%):大変満足50.0% 満足25.0% 普通25.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回利用団体】 80枚 <ul style="list-style-type: none"> 「利用全般」 (100.0%):大変満足76.3% 満足23.7% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (97.5%):大変満足74.7% 満足22.8% 普通2.5% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」 (98.8%):大変満足90.0% 満足 8.8% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満1.2% 「食堂の食事」 (94.4%):大変満足60.6% 満足33.8% 普通5.6% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツブライコースでは、蜂への対応等、安全に見届けていただきありがとうございます。 ・所員の方には事前打合せや急な変更などにも細かく、快く対応いただき大変助かりました。 ・テント等も常にきれいな状態に保たれており嬉しいです。 ・キャンプファイヤーでは多様な場面で細かな配慮をしていただきました。 ・本校の活動に沿った手厚いサポートありがとうございました。 ・食堂食では子供たちが大いに食べ、寒い時期の温かい食事はごちそうでした。 <p>・「野外学習アンケート」 ※カッコ内は「できた」「まあまあできた」の合計が全体に占める割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ①回収枚数 1,047枚 ②各項目の達成度 <ul style="list-style-type: none"> 「ほほえみ」 (91.3%):できた64.0% まあまあ27.3% 普通7.3% あまり0.8% できない0.6% 「なかま」 (90.7%):できた66.6% まあまあ24.1% 普通7.7% あまり1.1% できない0.5% 「自然」 (89.5%):できた68.5% まあまあ21.0% 普通8.5% あまり1.2% できない0.8% <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ■ファミリーキャンプ (対象:家族 日程:1日 10/14) ※台風に伴い1泊2日から日帰りに変更 <ul style="list-style-type: none"> ①回収枚数 10枚 ②事業の満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 【初回参加】 7枚 <ul style="list-style-type: none"> 「満足度」(100.0%) 大変満足85.7% 満足14.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 3枚 <ul style="list-style-type: none"> 「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段できない体験ができたし、家族みんなで協力できて楽しかった。 ・ドングリを食べたり、コマにしたりして楽しかった。 ・活動が楽しく、パエリアも美味しかったので、また参加したい。

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■ファミリーDAY アウトドアクッキング編 (対象:家族 日程:半日 11/10,11/16)</p> <p>①回収枚数 35枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 26枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足80.8% 満足19.2% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 9枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足66.7% 満足33.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方にも声掛けや指導をいただき、快適に過ごすことができました。 ・料理は失敗も多かったけど美味しかった。家でもやってみようと思います。 ・普段できないことを家族で経験でき、新鮮でとても楽しかったです。 <p>■ファミリーステイI (対象:家族 日程:1泊2日 11/30～12/1, 12/14～15)</p> <p>①回収枚数 33枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 10枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足90.0% 満足10.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 23枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足82.6% 満足17.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然とふれあいながら、たくさんの家族やスタッフの方々とお過ごせるとも貴重な体験ができました。 ・ゲームについても工夫されており、夏休みの自由研究に使いたい。 ・みなさんの笑顔と、どんな年代でも楽しめるゲームが、大変勉強になります。 <p>■自然は友だちキャンプ 寒さにチャレンジ編 (対象:子ども 日程:1泊2日 1/25～26)</p> <p>①回収枚数 44枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 14枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足92.9% 満足7.1% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 30枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足90.0% 満足10.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の中で自分が最年長だったので、みんなをリードしようと努力できました。 ・知らない子と友だちになれるか心配していたけど、仲良くなれて良かった。 ・テント設営の時に、寒くならないような対策をみんなで考えることができました。 <p>■ファミリーステイII (対象:家族 日程:1泊2日 11/30～12/1, 12/14～15)</p> <p>①回収枚数 39枚</p> <p>②事業の満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 11枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足72.7% 満足27.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 28枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足78.6% 満足21.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの笑顔で、親切にいただきました。家族のふれあいの時間を作ることができました。 ・餅つきをまたやりたいです。レクリエーションはみんなと協力できて良かったです。 ・子ども同士だけでなく、大人やスタッフともふれあうことができました。
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○受入事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ等で、施設としての考え方を説明している。</p> <p>利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に荷物を自然の家に配達したいのですが、無理でしょうか。 ⇒基本的には破損や紛失等も考えられるため、利用者に持参いただくようお願いしています。どうしても持参が難しく、配達せざるを得ない場合は、時間指定をして受け取っていただくか、送付物と個数をあらかじめ連絡いただくようお願いをします。 ・クラフトの竹スプーン作りで、なかなか満足のいく仕上がりになりませんでした。 ⇒子どもたちに、どこまで困難や苦勞、失敗体験をさせるかなどを踏まえ、所員の説明内容を再度、指導係で確認し、指導方法の改善を図ります。 ・お風呂の時間が聞いていた時間と違い、とても困りました。 ⇒基本的には、浴室は共有場所であることを伝え、事前打合せや当日の宿直職員による夜の打合せで、各団体の指導者に時間の確認などを再度徹底します。 また、配慮が必要な場合は、多目的風呂の利用も可能なので、事前に申し出てもらうよう事前打合せで伝えます。

要望・苦情と
対処・改善

○主催事業

意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会（全体会）」で、施設としての考え方を説明している。

事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を通して検討を重ね、次回事業のよりよい運営に生かしている。

《主な意見と対応》

・ファミリーステイで起床の前に、自然の家のチャイムが鳴り、ゆっくり寝られなかった。

⇒自然の家のカリヨンは朝6時に鳴るよう設定されていますが、ファミリーステイの起床は朝7時の為2回目以降は、朝は鳴らないように設定をしました。

・クラフト(お土産)を持ち帰る袋をもっと大きいものにして欲しい。

⇒想像以上に、ユニークな作品が多かったので、用意したものではありません。持ち運びがしやすいよう、2回目はひとまわり大きい袋に変更しました。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
I 公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	すべての利用者の平等利用を確保するため、きめ細やかなモニタリングを実施しているか。 モニタリングの結果を真摯に受け止め、常に市民の目線で、改善に向けた取組みを実施しているか。 「ユニバーサルサービスの推進」を重点目標とし、モニタリングに関する取組みの他にも、3つの取組みを着実に実施しているか。 ①類似施設への視察や類似施設で働く職員との意見交流を積極的に行い、先進的な取組みや見本となる取組みを取り入れる。 ②事業団の運営する施設が緊密に連携して、核施設の取組み状況をチェックし、改善の促進を図る。 ③人権啓発研修会、車いす体験研修会などの研修会に積極的に参加し、様々な人の視点で施設運営の見直し、改善を図る。 ソフト・ハード両面で、職員の専門性・ノウハウを生かし、ユニバーサルサービスの推進を図っているか。	A	A	A	
		(2)情報提供、広報の方策	情報公開については、下記の基本的な考え方に基づいた対応を行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)公開請求について (3)情報公開体制の公表 (4)全職員への周知徹底 より多くの市民の皆さんに情報提供ができるよう、4つの方策に基づいて、広報活動の推進を図っているか。 (1)各種媒体の積極的な活用 (2)学校との協力体制の構築 (3)ホームページの充実 (4)積極的な体験機会の提供	S	S	S	
		(3)個人情報を保護するための方策	個人情報については、下記の基本的な考え方に基づいて、適切な取扱いを行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)個人情報の取扱いについて (3)個人情報保護体制の公表 (4)全職員への周知徹底	A	A	A	
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	利用団体の年間予約については、平日の学校利用の優先などに配慮し、調整を図っているか。 管理運営する他施設と十分連携し、当事業団全体で、人権に対する取組みを推進しているか。 反社会的勢力対策に万全を期すため、組織的な体制を整え、基本方針に基づいた対応の徹底を図っているか。	S	S	S	
		区分評価					A
II 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各事業の重点目標に基づいて、改善、工夫又は新規の取組みを積極的に行っているか。 <受入事業> (1)自然の家の3つの願いに基づく利用の推進 (2)専門職員による指導・支援体制の充実 (3)利用満足度の向上 <主催事業> (1)自然の家の3つの願いに基づく事業運営の推進 (2)新規活動プログラムの提供と充実した指導・支援 (3)家族間交流を図る活動プログラムの推進 (4)事業満足度の向上 <研修・啓発事業> (1)体験型研修会の充実 (2)積極的な自然体験活動の普及 (3)積極的な自然情報の発信 <研究・開発事業> (1)専門性の向上を図るための職員研修の充実 (2)新規活動プログラムの積極的な開発 (3)個人研究「自己課題」への取組みの推進 <自主事業> (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の充実 (2)幼児対象事業及び出展事業の推進	S	S	S	
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策	アンケート調査及び聞き取り調査を、事前・当日・事後を通して、段階的に実施しているか。 利用者ニーズ、苦情などに適切に対応するため、3つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1)組織的な対応の徹底 (2)実務研修(OJT)の推進 (3)外部研修会への積極的な参加	A	A	A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
Ⅱ 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(3)利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者のサービス向上を図るため、4つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1) 接遇方針の周知徹底 (2) 体験を通じたプロモーション活動の推進 (3) 各種媒体を活用したプロモーション活動の推進 (4) ニーズに対応した設備整備の推進	A	A	A	
		(4)利用促進、利用者増の方策	利用促進、利用者増を図るため、現状を踏まえた3つの方策に基づき、具体的な取組みを実施しているか。 (1) 冬期に特化した活動プログラムの開発とプロモーション活動の推進 (2) 主催事業における“常に新しい活動プログラム”の提供 (3) 公園管理者や体育館との協力事業の推進	S	A	A	
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	サービスの質を確保するための、4つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1) きめ細やかなモニタリングの実施 (2) 改善システムの適切な運用 (3) 体育館・公園管理者との協力体制の構築 (4) 類似施設との協力体制の構築	A	A	A	
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が、充実した指導・支援を行っているか。	S	S	S	
		(7)その他指定管理者の提案によるもの	市内学校の利用が円滑に行えるよう、必要に応じて、臨時開所をしているか。 活動プログラムを効果的に提供できるよう、専門性やノウハウを生かした教材づくりを行っているか。	A	A	A	
		区分評価					A
Ⅲ 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	過度な経費の削減により、サービスの低下を招かないよう、サービスとコストのバランスを十分に踏まえた施設運営を行っているか。 (1) 施設管理のための適正な予算措置 (2) 長期展望に立った施設運営による経費の縮減とサービスの向上 (3) サービスの向上と安全の確保のための職員体制	A	A	A	
		(2)収支計画の妥当性	過去の実績をもとに、必要経費の見直しを図り、実情に即した収支計画を立案しているか。 (1) サービスとコストのバランスを考慮した収支計画の立案 (2) 重油価格などの物価変動の激しい経費の収支計画 (3) 適正な教材費の設定	A	A	A	
		(3)管理経費縮減の具体的方策	“職員でやれることは職員で”をモットーに、自前での修繕・整備を推進し、大幅にコストを縮減しているか。 消耗品や備品の一括購入により、経費を縮減しているか。 電気使用量・料金の縮減を図るため、下記の取組みを行っているか。 ① 岐阜市との協議の上、照明のLED化を推進 ② デマンド監視システムによる電力の効率的な使用 ③ 最適な電力供給会社の選定 ④ 消灯チェックなどを行う館内点検の強化 ⑤ 全職員で毎月の電気使用量・料金チェック 重油の単価契約を事業団独自で行い、燃料費の縮減を行っているか。 電子媒体の活用により、切手代などの郵送料を削減しているか。 各種冊子の印刷製本を自前で行い、印刷製本費の縮減を行っているか。	A	A	A	
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	教材を安価に仕入れ、利用者に低価格で提供することで、サービスの向上(実費負担の軽減)に努めているか。 “手づくりのぬくもり”を大切にしながら、サービスの向上に努めているか。 低炭素社会を創出するため、「岐阜市環境基本計画」等に則り、環境に配慮した事業運営を行っているか。	A	A	A	
		区分評価					A
Ⅳ 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	経営理念「わたしたちは、教育・文化活動を通じて、市民の健康な心と体づくりを応援し笑顔と生きがいのある豊かな生活づくりに貢献していきます」を2つの点から実現しようと努力しているか。 (1) 公益法人としての高い信頼性 (2) 安定した財務内容	A	A	A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
IV 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(2)スタッフ配置の妥当性	充実した指導・支援体制と無理のない勤務の両立を図っているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が施設運営を行っているか。 (1)職員の高度な専門性とノウハウの活用 (2)自然の家の運営に適した資格の保有	A	A	A
		(4)スタッフの管理、監督体制	8つの項目に重点を置き、管理、監督体制の徹底を図っているか。 (1)目標の共有と達成に向けたチームワークづくり (2)施設長会議・所内経営会議・職員会議による周知・徹底 (3)法令の遵守 (4)女性が働きやすい環境の整備 (5)ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくり (6)セクシャルハラスメント・パワーハラスメント対策 (7)メンタルヘルス対策 (8)報告・連絡・相談の徹底	S	S	S
		(5)スタッフの人材育成の方策	4つの方策に基づく取組みを通して、自然の家の運営に適した人材の育成を図っているか。 (1)当事業団全体の研修会の実施 (2)自然の家独自の研修会の実施 (3)実務研修(OJT)の実施 (4)個人研究「自己課題」への取組みの推進	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策、利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	リスクへの対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているか。 (1)事故防止対策 (2)防犯対策 (3)「表示マーク(銀)」の交付 (4)「応急手当協力事業所」の登録 (5)環境衛生対策 (6)緊急時の対応	A	B	A
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	下記のように、リスクへの対応能力を備えているか。 (1)全国市長会市民総合賠償補償保険での対応 (2)施設管理に関する賠償責任保険への加入 (3)主催事業等における保険への加入 (4)当事業団の資金力について	S	S	S
		(8)その他指定管理者の提案によるもの	学校及び教育委員会、市内公共施設と十分に連携して施設運営を行っているか。	A	A	A
		区分評価				
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	岐阜市が標榜する「5年先行く教育」の実現のため、英語教育、理数科教育に寄与する事業の充実を図っているか。 (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の運営 (2)「ぎふサイエンス・キャンプ」の受け入れ (3)「ぎふサイエンスフェスティバル」への出展 市内の児童生徒に効果的に「アクティブ・ラーニング」の場を提供できるよう、市内学校を優先して利用調整を図っているか。 三輪地域の振興、活性化に貢献できるよう、協力事業、出展事業を推進しているか。 (1)三輪地域の環境を生かした協力事業の推進 (2)地元イベントでの出展事業の推進 三輪地域の自然情報を積極的に発信しているか。 (1)「季節の散策マップ」の配布 (2)ホームページ等による紹介 「子どもが夢を！ 青少年が志を！ 市民みんなが生きる喜びを！」の具現に向けて、市内各種団体の健全な育成に寄与できるよう努めているか。 (1)出前講座や事業協力の推進 (2)遠足や社会見学などでの活動プログラムの提供と指導・支援 (3)大学がボランティアスタッフの育成 再委託業務の指名については、地元業者を考慮しているか。	S	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	地元の住民、高齢者、障がい者を積極的に雇用しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	備品、資材等を調達する際は、原則、市内の業者に発注しているか。	A	A	A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(4)地元での社会活動等への参加	「安全・安心のまち 三輪」を推進する施設としての役割を果たしているか。 (1)「子どもスマイルステーション」 (2)応急手当協力事業所 行事などを通して、幅広く地元での活動に参加しているか。	S	S	S
		(5)その他指定管理者の提案によるもの	「MAGロード(東海環状自動車道)岐阜三輪スマートIC(仮称)の設置にともなう地域の活性化に寄与しているか。 (1)市外・県外の団体の受け入れ体制の整備 (2)市外・県外への広報活動の充実 「岐阜ファミリーパーク再整備計画」の進捗状況に即した事業を推進し、公園や地域の活性化に寄与しているか。	S	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(I-(2))

- ・主催事業、自主事業における各事業の募集をはじめ、施設案内、活動プログラム、自然情報等、自然の家の様々な情報をより多くの市民の皆さんに提供するため、「広報ぎふ」や地域情報誌、ちらし配布やホームページ等各種媒体を積極的に活用した広報活動の推進を図った。
- ・新着情報として、主催事業の募集案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「Facebook」や「Instagram」を有効に活用した広報を開始し、ホームページからSNSへリンクを張るなど、SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った。
下半期SNS投稿回数:各27回投稿(Facebook、Instagram)
1投稿あたりの「いいね」の数が、上半期と比べ下半期は103.7%と上昇した。
- ・事業団のホームページ上にSNS開設のお知らせと同時に、「岐阜市教育文化振興事業団SNS運用方針」も公表し、SNSの情報発信にあたり利用者の誤解や混乱を生じないように努め、法令等に従い適切に管理できている。
- ・主催事業アンケートや主催事業の終わりの会で、「今回の事業を何で知りましたか」という問いに対し、「SNSやホームページで知りました(下半期 ホームページ:8件、SNS:3件)」と回答する方も現れ始め、SNS等による情報提供、広報の方策が浸透してきている。

(I-(4))

- ・令和元年度における利用受入れについて
 - ・臨時開所による対応
できる限り希望に添えるよう、下半期は9日間休所日を臨時開所して対応した。
 - ・利用時期についての利用満足度
「満足度」(80.8%) 大変満足65.4% 満足15.4% 普通11.5% 不満7.7% 大変不満0.0%
 - ・全て希望の時期(曜日も含めて)に利用していただくことは不可能である。しかし、様々な配慮により、概ね満足していただくことができた。
また、不満と回答した学校については、その理由を分析するとともに次年度の利用調整に生かした。
- ・令和2年度に向けての年間利用調整について
 - ・利用団体の年間利用調整(年間予約)は、各団体から利用希望時期を記入した利用希望調査書を提出していただいたうえで、利用調整原則に則り調整を図った。
また、その結果は小中学校や子ども会、ボーイスカウト等の代表者で構成されている利用調整委員会で審議され承認を得ることができた。
 - ・小中学校の利用では、学校行事(修学旅行・運動会等)と重ならないよう配慮することや、特別支援学校においては、子どもの体調管理を考慮し、原則、利用日の次の日が学校休業日となる木金の利用とした。
また、公平・公正な年間利用調整となるよう、下記の事項が続かないよう配慮した。
○第3希望での調整
○小中学校の利用では、振替が必要となる金土利用
○学校休業日明けで、子どもの健康状態が把握しづらい月火の利用
 - ・利用希望時期は、1か月を上旬・中旬・下旬に分け第3希望まで記入していただいているが、できる限り第1・第2希望で調整できるよう、以下の点を考慮し調整を図った。
○学校規模による組み合わせ
○活動内容に配慮した組み合わせ
○休所日の臨時開所(16日間)
 - ・利用調整結果

- 岐阜市立小中学校及び特別支援学校
第1希望:63校(90.0%) 第2希望:6校(8.6%) 第3希望:1校(1.4%)
※特別支援学校については、すべての学校で木金利用で調整
- 岐阜市立小中学校以外の学校
第1希望:24校(51.0%) 第2希望:17校(36.2%) 第3希望:6校(12.8%)
- 青少年団体等
第1希望:92団体(81.4%) 第2希望:12団体(10.6%) 第3希望:4団体(3.6%)
希望外:5団体(4.4%)

(II-(1))

- ・自然の家の3つの願いの達成度
自然の家の設置目的を常に意識した指導・支援を行った。特に、自然の家の3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の達成度(5段階評価の内、「できた」「まあまあできた」の占める割合)を高める為、それぞれの願いに応じたプログラムの提供や、指導・支援を行うことで、下記の達成度を得ることができた。

《アンケート結果》

受入事業:「ほほえみ」91.3% 「なかま」90.7% 「自然」89.5%
主催事業:「ほほえみ」96.9% 「なかま」94.4% 「自然」96.9%

《参考》

- 「ほほえみ」(達成感・自己発見等)
自ら考え、工夫して活動をやりきることで、成就感や達成感を味わわせ、自主的・創造的な態度を養う。
- 「なかま」(協調性・社会性・自立性等)
一人ひとりが役割を果たすとともに、規律を守り、互いに協力して活動することで、仲間を思いやる態度を養う。
- 「自然」(感性・感動・畏敬等)
五感を働かせて自然体験活動に取り組むことで、自然に対する興味・関心を高め、自然に親しむ態度を養う。

- ・受入事業での利用満足度

「利用全般」 (98.9%):大変満足75.3% 満足23.6% 普通1.1% 不満0.0% 大変不満0.0%
「施設・設備」 (96.6%):大変満足75.0% 満足21.6% 普通3.4% 不満0.0% 大変不満0.0%
「職員の対応」 (97.8%):大変満足88.8% 満足9.0% 普通1.1% 不満0.0% 大変不満1.1%
「食堂の食事」 (92.4%):大変満足59.5% 満足32.9% 普通7.6% 不満0.0% 大変不満0.0%

- ・令和元年度上半期利用満足度 利用全般:97.1% 施設・設備:96.0% 職員の対応:97.7%
すべての項目において、上半期の利用満足度を上回り、非常に高い評価を受けた。特に食堂の食事においては、メニューの改善や、きめ細やかな食物アレルギー対応等が評価され、上半期の満足度91.3%から下半期92.4%となった。

- ・主催事業における事業満足度:100.0%

・SNSを活用した情報発信

主催事業案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「Facebook」や「Instagram」を有効に活用した広報を開始し、SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った。

下半期SNS投稿回数:各27回投稿(Facebook、Instagram)

1投稿あたりの「いいね」の数が、**上半期と比べ下半期は103.7%と上昇した。**

(II-(4))

・地元感謝祭「遊湯わくわく三輪」の開催

閑散期の利用促進及び地域貢献として、地元の三輪北地域や三輪南地域の方に、広く自然の家を理解していただくため、大浴場の無料開放や自然の家の活動プログラム体験などを行った。
また、世代を超えたふれあいを深め、地域に貢献していくため、地元の小中学校や自治会、老人会等にチラシを配布し、イベント当日は多くの住民らでにぎわった。

<イベント内容>

- 大浴場の無料開放
- 火おこし、自然散策の体験
- ぜんざいの無料配布
- 岐阜弁カルタ、将棋、オセロ、囲碁、卓球コーナーの設置

(II-(6))

- ・事業計画書28ページに記載している職員配置の原則に則り、すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切に指導・支援を行った。特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置した。
- ・天候の急変、サル・イノシシ・クマの出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置した。
- ・急な活動計画の変更があった場合も、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整を図り、適切に職員を配置した。
- ・準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めた。
- ・主催事業、ファミリーキャンプやファミリーステイでは、自然の家周辺の自然環境を熟知した職員がその環境を生かしたプログラムを企画・実施することで**事業満足度100%**となった。
- ・上記の取組みの結果、「利用者アンケート」の記載には、「指導・支援体制が充実している」、「指導・支援の在り方が適切である」といった内容が大変多く見られた。
「職員の対応」の満足度97.8%(大変満足88.8% 満足9.0%)となり、成果・効果は顕著と言える。

今期の取組み
に対する評価

(IV-(4))

・ **岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定**

優秀な人材の確保と職員の働く意欲を向上させるため、家庭と仕事の両立支援や女性の活躍推進に向けた取組みを通して、職員が働きやすい環境を整備し、良質な市民サービスの提供につなげている。この度、岐阜県に「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定を申請した結果、これまでの事業団の取組みに対し、審査会で27項目中21項目が評価され、他の模範となる企業のひとつとして、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業(147社/3,200社「令和元年度末」)の認定をいただいた。
「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定は毎年審査があるため、今後も継続できるよう、さらなる職場環境の向上に努める。

(IV-(6))

・ **危機管理マニュアル「異物混入への対応」を見直し、職員に周知徹底を図った。また、連絡体制においては所管課への電話による第一報は、事象の発生を把握した職員がすぐに行うこととした。**

・ 異物混入における再発防止策の徹底

<再発防止策>

岐阜市少年自然の家所員は、公共の教育施設における給食業務であることを全員が十分理解し、誠実かつ責任をもって業務に取り組み、給食業務委託事業者である岐阜給食センターとともに安全な食材を提供する。

- ①再発防止策の確実な履行の確認と指導
- ②食品庫、厨房の衛生状況の定期的な確認と指導
- ③混入の可能性のある異物の排除
- ④管理栄養士の派遣による作業手順の確認と衛生管理の徹底
- ⑤食堂給食業務の負担軽減策の実施
- ⑥給食業務従事者の安全意識の向上

・ 熱中症対策

暑さ指数計を活用し、熱中症の危険度を判断する数値として、暑さ指数(WBGT)の情報を利用者に提供した。また、暑さによる活動の変更にも柔軟に対応した。
さらに、ミスト扇風機を猛暑時のオリエンテーリングやウォークラリー、野外炊事の休憩地点に設置し、熱中症予防に努めた。
利用団体についても、熱中症で救急搬送されるような事態がなく、野外活動を行う自然の家として、熱中症対策を十分に行うことができた。

・ 豚熱対策

豚熱ウィルスの拡散防止に向けて、公園管理者と協力して、引き続き遊歩道出入りに消石灰を散布することとした。自然の家の管理区分ではないが、散布する9か所のうち2か所を自然の家が散布することとし、週2回程度及び雨天後に消石灰を散布することで、豚熱ウィルス拡散のリスク減少に努めた。

・ **新型コロナウイルス対策**

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、岐阜市と緊密に連携を取りながら、イベント等の開催自粛、ポスター等による利用者への啓発、アルコール消毒の設置などを速やかに実施した。
また、3月2日からの一部施設の利用停止を受けて、該当する利用団体に対して丁寧な説明を行い、代替の希望日の相談や活動内容の見直しなどを提案できた。

(IV-(7))

・ 主催事業や自主事業の参加者の怪我や事故に対応するため、全国市長会市民総合賠償保険以外に、事業団独自で傷害保険に加入し、万が一に備えている。
また日帰りの事業について、他施設の事業もまとめて**年間包括契約を締結し、事業団全体で保険内容の見直し・充実を図った。**

【自然の家での対象事業】

指定事業:家族対象事業 ファミリーDAY・ファミリーキャンプ(2事業 3回)
市民対象事業 遊湯わくわく三輪(1事業 1回)、自然体験活動実技研修会

・ **熱中症危険補償特約の付加**

近年増加傾向にある熱中症に対応するため、普通傷害保険の補償内容に**新たに「熱中症危険補償特約」を付加**。事業参加者の万が一に備えるとともに、事業団に係るリスクへの対応を強化した。

・ **給付保険金額の充実**

熱中症対策の強化を図るとともに、死亡・後遺障害に対する補償額の引き上げも行い、事業を実施する上での安心・安全面の向上を図ることができた。

【新契約】

給付内容	1人あたりの保険金額
死亡・後遺障害保険金額	10,000,000円
入院保険金(日額)	5,000円
手術保険金(入院時)	50,000円
手術保険金(外来時)	25,000円
通院保険金(日額)	3,000円

【旧契約】

給付内容	1人あたりの保険金額
死亡・後遺障害保険金額	9,000,000円
入院保険金(日額)	5,000円
通院保険金(日額)	3,000円

・ 上記保険内容の充実は、複数の事業をまとめた包括契約の入札を実施することで、**これまでの保険料金を変更することなく実施**できている。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(V-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元感謝祭「遊湯わくわく三輪」の開催 閑散期の利用促進及び地域貢献として、地元の三輪北地域や三輪南地域の方に、広く自然の家を理解していただくため、大浴場の無料開放や自然の家の活動プログラム体験などを行った。 また、世代を超えたふれあいを深め、地域に貢献していくため、地元の小中学校や自治会、老人会等にチラシを配布し、イベント当日は多くの住民らでにぎわった。 <p><イベント内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○大浴場の無料開放 ○火おこし、自然散策の体験 ○ぜんざいの無料配布 ○岐阜弁カルタ、将棋、オセロ、囲碁、卓球コーナーの設置 <p>(V-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元での活動に参加・協力 「三輪北文化のつどい」への出展、「三輪南歩け歩け大会」への協力、「地域清掃活動」への参加、「三輪中学校間伐体験」への協力、「三輪中学校キャリア体験学習」の受入れなどを通して、地域の一員として積極的に役割を果たしている。 ・ 新規事業：地元感謝祭「遊湯わくわく三輪」の開催 閑散期の利用促進及び地域貢献として、「遊湯わくわく三輪」を開催したところ、地元自治会や住民から、次年度以降も実施して欲しいという声が多く挙がった。自然の家としても、地元のまちづくりのための行事として、位置付けていきたい。 <p>(V-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風被災地への義援金の募金活動 関東地方中心に甚大な被害をもたらした「令和元年東日本台風(令和元年台風第19号)」の被災者に対し、私たちが何か力になれることはないかと考え、事業団が管理する各施設の窓口で、義援金の募金活動を行った。集まった市民からの義援金は日本赤十字社へ送金し、被災地の復興に役立てられた。 ・ MAGロード(東海環状自動車道)岐阜三輪スマートICの開通イベントへの協力 3月8日に予定していた開通イベントを盛大に盛り上げるため、自然体験ミニイベント(竹けん玉遊び、昔の遊びなど)を計画し、必要な材料の準備を進めた。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・ その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IV-(6)…給食について、異物混入の事案が2年連続して発生しており、緊急時の連絡体制や、危機管理体制に改善を要するため、D評価とした。 ⇒危機管理マニュアル「異物混入への対応」を見直し、職員に周知徹底を図りました。また、連絡体制においては所管課への電話による第一報は、事案の発生を把握した職員がすぐに行うこととしました。 <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 SNS広報による効果の指標である「いいね」についてはまだ数が多くないと考えられるため、今後に期待したい。 ⇒岐阜市少年自然の家のInstagramのフォロワー数は124人(3月末現在)となり、着実に「いいね」の数も増え続けています(1投稿あたりの「いいね」の数が、上半期と比べ下半期は103.7%と上昇)。また主催事業の応募者の中には「SNSを見て応募した」という意見も寄せられるようになり、今後も引き続きSNSによる広報活動を広げていきたいと思えます。 2 給食の管理の問題について、評価基準を鑑みると、危機管理上、指導が必要だと判断する。 ⇒管理体制を整えるため、本社から管理栄養士を派遣し、調理員の作業工程を見直し、メモ用紙等の食材以外の持ち込みを禁止する対策を取り、再発防止に努めました。また、2か月ごとに研修会を開催し、調理員の意識改革を行っています。

今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に記載した内容の着実な履行 ・専門性の追求と魅力あるプログラム開発 ・市の施策に応じた事業の展開 「コンパスキューブ」の考え方に基づいた「アクティブ・ラーニング」の充実 ・自然の家を取り巻く環境の変化に応じた取組み 岐阜ファミリーパークこどもゾーン長大ローラーすべり台完成記念イベントへの協力 岐阜ファミリーパーク再整備に向けた提案 ・経費の縮減とサービスの向上の実現 既存業務の見直し、事務の簡素化・効率化の意識向上 ・給食業務を含めた安全対策の強化と着実な実施 ・市と連携した新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応
--------	--

●所管課の意見

- 前回の評価委員の評価から変化した項目
- △指定管理者や所管課の自己評価がA(標準)でない項目
- 指定管理者と所管課で評価が異なる項目

I-(2)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会A) (●△)
SNSに新着情報を掲載するとともに、ホームページからSNSへリンクを張るなど、情報発信手段として活用し、**SNS等による情報提供、広報の方策が浸透**してきているというように成果が現れていることなどを評価した。

I-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)
利用受入れについては、臨時開所など利用者に配慮した対応を行っており、利用時期についての利用満足度が80%に達していることや小中学校の利用では、公平・公正な年間利用調整となるよう調整を図っていることを評価した。

II-(1)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会A) (●△)
「主催事業における事業満足度」が、上半期に引き続き100%となっていることや小学5年生を対象に行った「野外学習アンケート」においては、自然の家の3つの願いの達成度が概ね90%を超えている。また、受入事業における各項目の満足度が上半期から上昇(「利用全般」97.1%→98.9%、「施設・設備」96.0%→96.6%、「職員の対応」97.7%→97.8%、「食堂の食事」91.3%→92.4%)している点を評価した。

II-(4)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●△□)
利用促進、利用者増の方策として、地元感謝祭「遊湯わくわく三輪」の取組みが事例として挙げられているが、**この取組みはV-(4)の評価項目において高く評価することが適当**と考え、三輪地区以外の広範囲について、**さらなる利用促進、利用者増の方策を求めたい**ため、この評価とした。

II-(6)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)
野外炊事や川での活動では、複数の職員を配置するなどより安全性を高めるための対応を行っており、利用者アンケートにおける「職員の対応」の満足度が高い水準を維持していることなどを評価した。

IV-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会A) (●△)
働きやすい職場環境を整備し、職員の働く意欲を高めることで、市民サービスの向上を図っており、**岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業に認定**されたことやこの取組みを評価した。

IV-(6)指定管理者A、所管課B(前回の評価委員会D) (●△□)
危機管理マニュアルや連絡体制の見直しを図るとともに、異物混入の再発防止策を講じている点は、**リスク対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているといえるが、この取組みを今後も継続し、安全・安心の実績を重ねる必要がある**と考え、この評価とした。

IV-(7)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会S) (△)
熱中症危険補償特約の付加に加え、死亡・後遺障害に対する補償額の引き上げを行うなど、これまでの保険料金を変更することなく補償内容の充実を図っている点などを評価した。

V-(1)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●△□)
この項目における業務履行は、**評価項目の要求水準とおりに**いえるが、**下半期の事業のさらなる充実を求めたい**ため、この評価とした。

V-(4)指定管理者S、所管課S(前回の評価委員会A) (●△)
地元への貢献事業として、地元地域の行事への出展・協力や地域清掃活動への参加・協力など、**地域の一員としての役割を積極的に果たしている**とともに、**新規に「遊湯わくわく三輪」を開催した**ことなどを評価した。

V-(5)指定管理者S、所管課A(前回の評価委員会A) (●△□)
この項目における業務履行は、**評価項目の要求水準とおりに**いえるが、**積極的な働きかけを通じた地元の活性化等に寄与する提案をさらに期す**ため、この評価とした。

●指定管理者評価委員会の意見

○独立行政法人 国立青少年教育振興機構において、自然体験活動が子供たちにとっていかに大切かということ呼びかけているが、自然体験ミニイベントや出前講座など、自然体験できるものを今後も計画して欲しい。